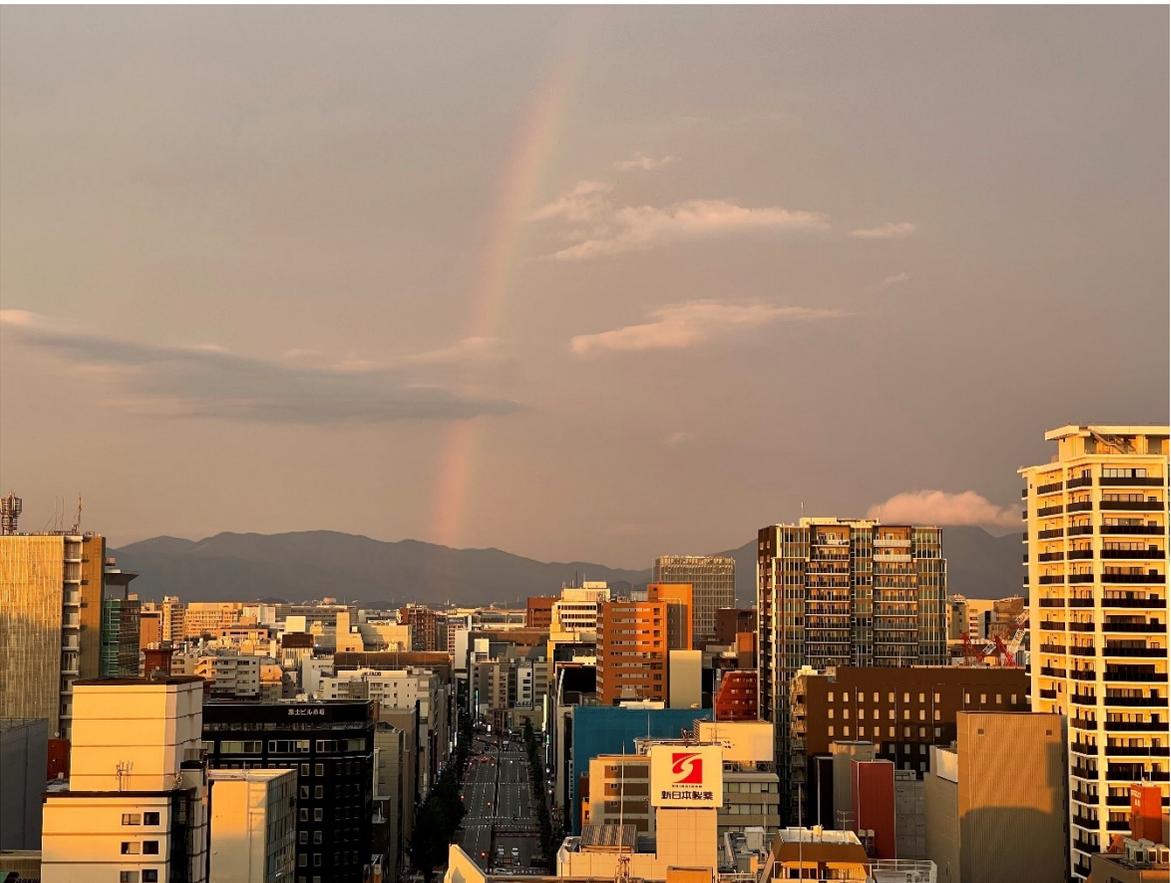


蝉せみしぐれ 虹の崎まで 続くなら

鳴かずに住むか 天の橋立あめ

令和三年七月十五日

大中臣正比呂



あなたと住んでみたい、と言いたくなる天橋立の宿。

雨上がれば蝉声せわし、さあ、今から蝉取りだ。